

# 平成20年度 当初予算案の概要

京 都 府



# 予算編成の基本方針

## ◆府民生活を守る4つの緊急対策

### 平成20年度の重点施策

- ◆地域力再生のさらなる進展
- ◆中期ビジョンの積極的な推進

- ◆府民視点に立った  
行財政改革の推進

「安心・安全、希望の  
京都」の実現

**府民生活を守る**

**4つの緊急対策**



# 府民生活を守る4つの緊急対策

- 緊急雇用対策
- 障害者の就労支援対策
- 中小企業者・農家の経営支援対策
- 後期高齢者医療の保険料軽減対策

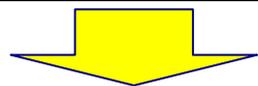


# 緊急雇用対策

景気の停滞傾向

有効求人倍率の悪化

平成18年7月 京都 1.05(全国 1.09) ⇒ 平成19年12月 京都 0.85(全国 0.98)



緊急的な雇用対策を実施

2,366百万円

## ◆ 緊急経済・雇用対策会議(仮称)の設置

学識経験者、金融機関、経済団体等による対策会議の設置

## ◆ 就職支援の強化

京都ジョブパークに「企業開拓員」2名を配置

## ◆ 緊急雇用創出

道路緊急安全確保小規模改良事業、匠の公共事業の実施 等



# 障害者の就労支援対策

障害者支援ジョブパーク

67百万円

「はあとふるジョブカフェ」の開設(京都テルサに設置)

- ◆障害者専門相談員の配置
- ◆ジョブサポーターによる実習訓練の付添支援 等

「ほっとはあと製品」の生産・販売促進

16百万円

- ◆福祉施設等で働く障害者の工賃引き上げ

「府庁ゆめこうば」事業の推進

10百万円

- ◆知的障害者雇用を条件に府業務を社会福祉法人等に委託



# 中小企業者・農家の経営支援対策

## 中小企業融資制度の充実等

- ◆原油価格高騰対策等の特別融資制度の創設(府・市協調)  
資金繰り悪化企業に対する借換・追加融資における融資期間等の特認
- ◆京都ECOLEート(府・市協調)  
環境配慮企業に対する優遇金利の設定
- ◆まちなか商店街再生特別融資及び補助金  
中心市街地エリアでの店舗整備等に対する低利融資及び補助金

## 農家経営の緊急支援

50百万円

- ◆経営緊急支援  
省力、省エネなど経営改善につながる農業資材の共同購入等への助成
- ◆農産物の販売拡大支援  
京都産農産物の販売促進活動への助成



# 後期高齢者医療の保険料軽減

平成20年4月～ 後期高齢者医療制度の導入

後期高齢者の保険料を軽減する  
ための府独自の支援

78百万円

◆ 広域連合が実施する後期高齢者の保険料負担  
部分(健診経費)に対し助成

平成20年度の重点施策

地域力再生のさらなる進展



# 地域力再生のさらなる進展

地域力再生を積極的に推進

総額100億円を確保

- 「きょうと元気な地域づくり応援ファンド」の創設
- 地域力再生プロジェクト交付金

## 重点的な取組

- 総合的な医師確保対策
- ふるさと共援活動の支援
- 「高齢者見守り隊」活動の拡大 等



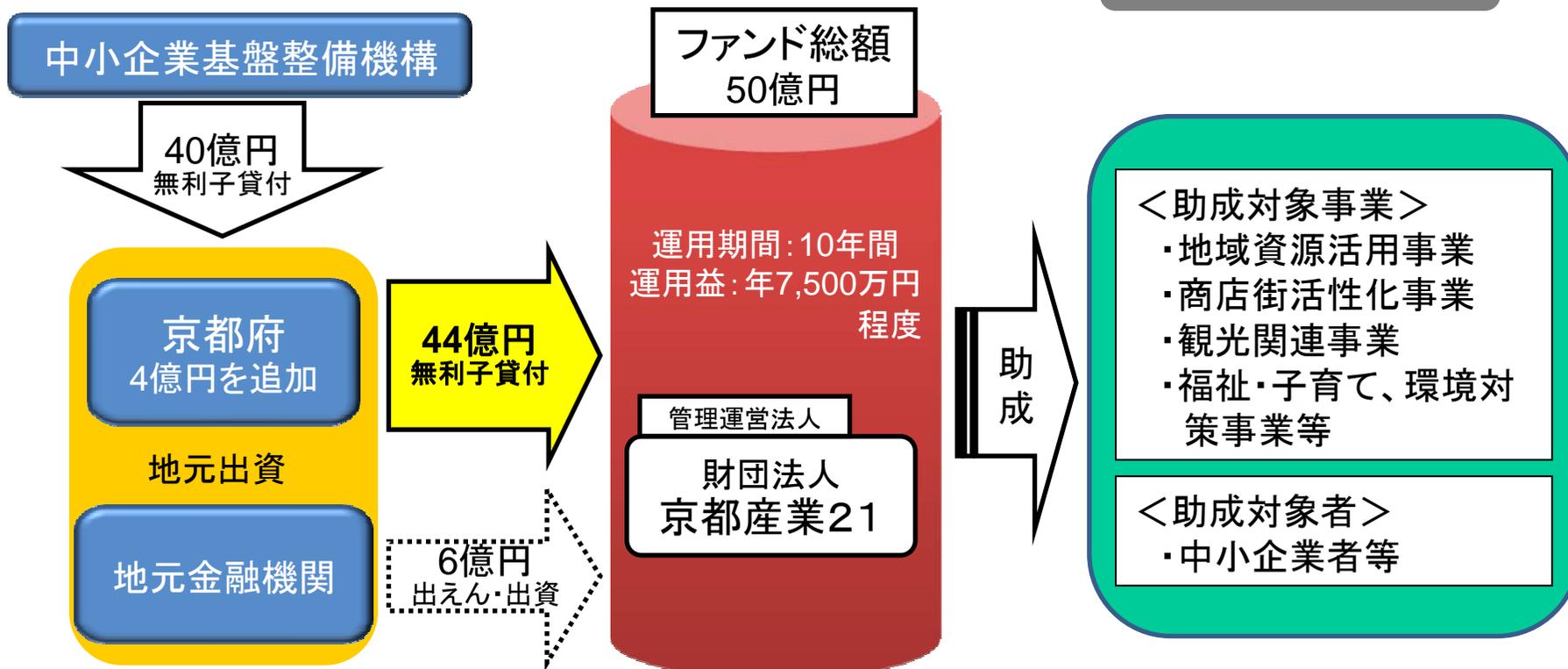
# 「きょうと元気な地域づくり 応援ファンド」の創設

50億円

◆地域が主体となった事業の創出や新分野への進出を支援するための果実運用型のファンドの創設

※国の「地域中小企業応援ファンド」制度を活用

4,400百万円





# 地域力再生プロジェクト

## 地域力再生プロジェクト交付金

300百万円

- ◆地域力再生推進枠(市町村未来づくり交付金)  
年度当初からの募集、府民提案型の協働事業枠の設置

## 地域力再生活動の支援

17百万円

- ◆地域力再生コラボ博覧会  
地域力再生フォーラム、リレー塾の実施
- ◆専門アドバイザーの育成・派遣
- ◆山城NPOパートナーシップセンターの設置



# 地域力再生の重点的な取組

## 総合的な医師確保対策 520百万円

- ◆地域医療確保奨学金制度の貸与枠の拡充(15名→43名)
- ◆府立医科大学入学定員の3名増員 等

## ふるさと共援活動の支援 8百万円

- ◆集落と大学、NPO等による共援組織が行う過疎化・高齢化が進む農村集落の再生活動への支援

## 「高齢者見守り隊」活動の全市町村への拡大支援

23百万円

## 地域戦略予算の積極的な展開 55百万円

- 山城(宇治茶の郷づくり等) 南丹(ふるさと帰農支援等)
- 中丹(地域産業活性化等) 丹後(天橋立・阿蘇海環境づくり等)

平成20年度の重点施策

中期ビジョンの積極的な推進



# 中期ビジョンの積極的な推進

## 主な施策

### 環境・文化創造の京都

- 京都環境行動促進事業
- 源氏物語千年紀関連事業

### 学びと育みの京都

- 全小学校での30人程度学級の実現(2年間)

### 活力の京都

- 府北部地域の産業振興

### 健やか長寿の京都

- 総合的な健診受診促進対策

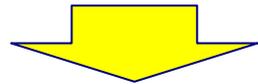
### 安心・安全の京都

- 防犯まちづくり・耐震対策



# 京都環境行動促進事業

2008年1月 京都議定書の第一約束期間がスタート  
2008年6月 サミット外相会合京都開催



## 地球温暖化対策等のパワーアップ

274百万円

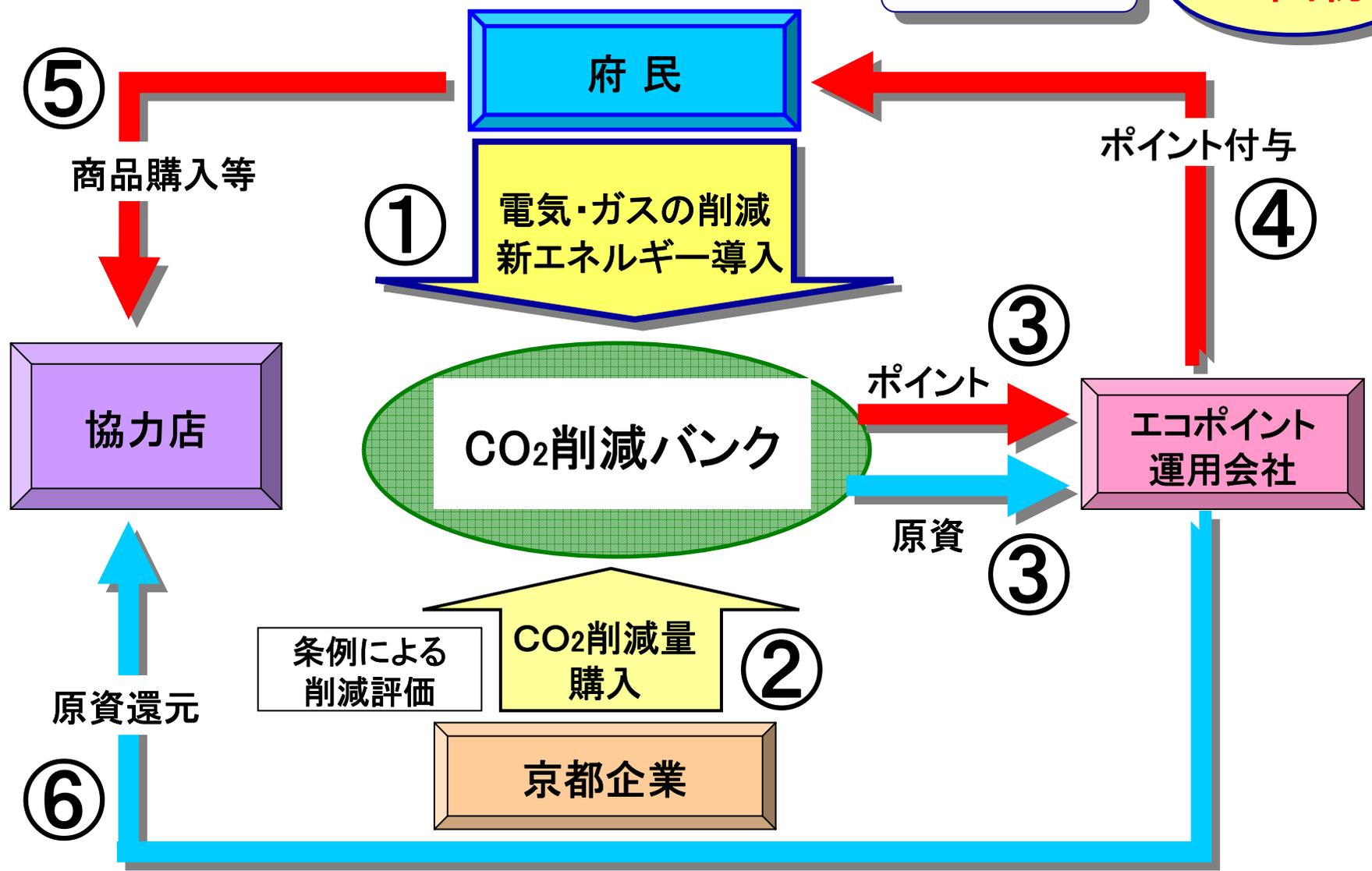
- ◆ 京都CO<sub>2</sub>削減バンク(仮称)の導入(エコポイントシステム)
- ◆ 府庁CO<sub>2</sub>20%削減運動の推進(府庁舎への太陽光発電の設置等)
- ◆ 京都産業エコ推進機構(仮称)の設立
- ◆ その他
  - ・ 地球温暖化防止府民ネットワーク会議の開催
  - ・ 府、産業界、処理業者が協働した産業廃棄物の減量リサイクルの取組



# 京都CO<sub>2</sub>削減バンク(仮称)の導入

20百万円

全国初





# 京都産業エコ推進機構（仮称）の設立

7百万円

## 趣旨

◆地球温暖化防止を図るため、府・市・産業界・大学等で構成する機構を創設し、京都の研究開発力を活かしたエコ産業づくりを推進

## ① エコ産業の創出

- ◆企業の技術開発交流の促進
- ◆中国、イタリアとの環境技術・産業の交流
- ◆京都エコスタイル製品コンクールの実施

## ② 中小企業のエコ化支援

- ◆資源の有効活用によるコスト削減、環境負荷軽減のためのシステム開発



# 源氏物語千年紀関連事業

150百万円

## 記念式典等の開催

- ◆源氏物語千年紀記念式典(11月1日)
- ◆源氏物語国際フォーラム
- ◆源氏物語千年紀展(京都文化博物館)等

## 府民参加型事業の実施

- ◆平安王朝の夜再現事業
- ◆源氏物語茶会・雅楽・能等文化的事業の開催
- ◆源氏物語千年紀公開講座の開催

## 伝統産業の活性化

- ◆源氏物語千年紀匠の技継承事業



# 全小学校で30人程度学級の実現

小3～小6の全ての小学校で30人程度の学級編制が実現できる教員を2年間かけて配置

府独自措置

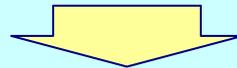
	現 状	20年度	21年度
小1 小2	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">小学校低学年指導充実</div> <p>2人の教員による指導</p>		<div style="text-align: center;">→ 継続</div>
小3 ～ 小6	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">京の子ども・少人数教育</div> <p>少人数授業 チームティーチング 少人数学級</p> <p>市町村教委 の選択実施</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #ffffcc;">30人程度の学級編制が実現できる教員配置</div> <p>→ 選択幅を拡大</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #ffffcc;">全体で約80人増</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">約40人増 (3・4年生実施可能な定数)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">約40人増 (5・6年生実施可能な定数)</div> </div> <p>※ただし、教員配置の方法は市町村教委の裁量</p>



# 府北部地域の産業振興

## 「北部産業活性化拠点・京丹後」の整備

◆ものづくり産業人材育成のための拠点を京丹後市に整備



北部地域の地場ものづくり産業の振興

265百万円

## 京都舞鶴港トライアル利用促進事業

◆京都舞鶴港でのコンテナ利用を促すため、貿易取扱事業者に対し支援



12百万円

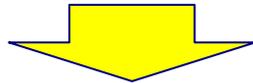


# 総合的な健診受診促進対策

- 低いがん検診受診率（市町村健診）

胃がん 5.0%、肺がん 12.7%、大腸がん 8.5%、乳がん 12.4%

- 20年度から保険者による特定健診・保健指導が義務化



## 健診等の受診促進対策を実施

554百万円

- ◆京都府健診受診率等向上対策協議会（仮称）の設置

- ・健診受診率の向上方策等を検討

- ◆予防・普及啓発

- ・啓発強化月間に特定健診、がん検診の重要性を集中的にPR

- ◆健診体制の確保

- ・市町村国保、国保組合が行う特定健診・保健指導に対する助成

- ◆後期高齢者の健診促進

- ・広域連合が実施する後期高齢者の健診（保険料部分）に対する助成



# 防犯まちづくり・耐震対策

## 府民防犯ステーション事業 4百万円

◆ 廃止交番跡等を利用した府民と府・警察が一体となった地域防犯の取組を推進

## 木造住宅耐震改修助成事業 25百万円

◆ 耐震性能が不十分な木造住宅に対する耐震改修助成

### 要件緩和の内容

	新	旧
住宅規模	撤 廃	240m <sup>2</sup> 以下の住宅
耐震性	居住性が著しく悪化:0.7以上	1.0以上
密集要件	市町村が定める地域も対象	30戸/ha以上
対象経費	工事費+設計費	工事費

府民視点に立った  
行財政改革の取組



# 主な歳入歳出の動き

## 歳入

- 府税(地方消費税清算金含む)  
△26億円
- 地方交付税等  
+14億円

歳入減 △12億円

## 歳出

- 後期高齢者医療費等  
福祉医療経費の増 +60億円
- 教育、福祉、病院、警察施設等  
施設整備費の増 +27億円
- 中小企業関係経費の増  
+5億円

歳出増 +92億円



# 経営改革プランの計画的な推進

## 172億円の改革

給与費プログラムの推進  $\Delta 97$ 億円程度

- ◆総人件費の抑制(給与構造の改革、職員数の削減(240人)等)

集中と選択による施策の見直し  $\Delta 48$ 億円程度

公共事業費の重点化  $\Delta 18$ 億円程度

- ◆一般会計で対前年 $\Delta 2\%$  (地財計画 $\Delta 2.7\%$ )
- ◆安心・安全、教育等への事業に重点配分
- ◆公債費プログラムに基づく投資可能額の範囲内

その他公営企業の経営改善等  $\Delta 9$ 億円程度



# 中期的見通しをもった財政運営

## 基金取崩しの抑制

➤ 府債管理基金の取崩  $\Delta$ 50億円

⑲当初 240億円 → ⑳当初 190億円

## 実質プライマリーバランスの黒字維持

⑲当初 1億円黒字 → ⑳当初 44億円黒字

府債及び公債費は、交付税の振替措置である臨時財政対策債等を除く。

※実質プライマリーバランス＝(歳入額－府債発行額)－(歳出額－公債費)

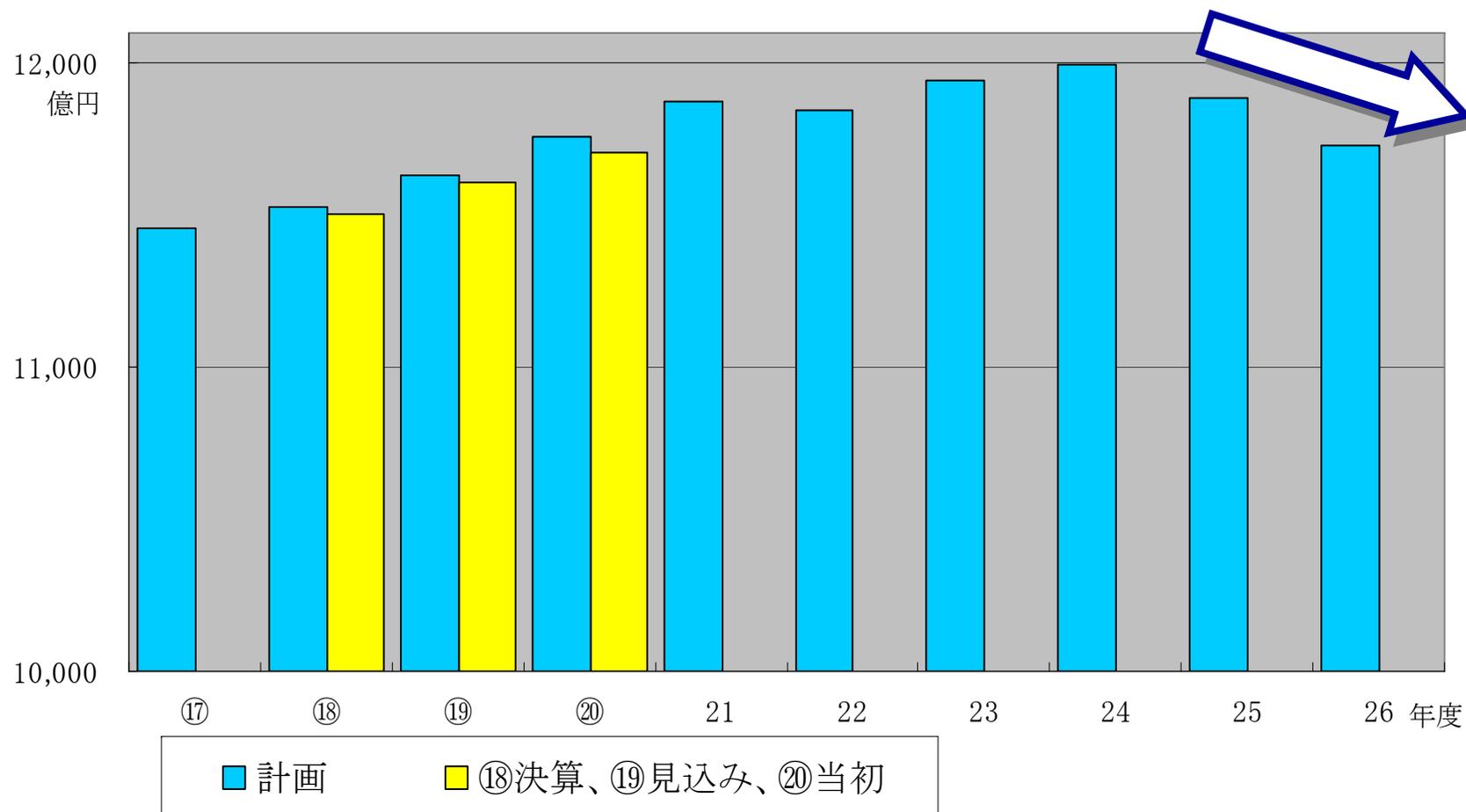
## 府債残高の適正管理

➤ 公債費プログラムの計画どおり府債残高を管理



# 公債費プログラムの取組状況

国が発行額を決定する臨時財政対策債(地方交付税相当)  
突発的な災害に対応する災害復興関連の府債 } を除く





# 行政評価主要指摘事項 に対する予算の措置状況

京都府行政評価委員会による中期ビジョン・経営改革プラン(マニフェスト)の評価結果を予算に反映

	予算関連 主要コメント	予算でのコメントの反映状況		
		反映	一部反映	検討中
項目数	57	32	17	8
構成比	100%	56%	30%	14%



# 当初予算の規模

一般会計予算 822,373百万円

対前年度比 100.2%

(<sup>①</sup>当初821,011百万円)

【参考】

<sup>②</sup>地方財政計画 100.3%